

北九州市民の会ニュース

第 94 回
メーデー

大幅賃上げ 大軍拡・増税 ノー



団結ガンバローを唱和する第 94 回中央メーデー参加者
= 1 日、東京都渋谷区



中央会場に 1.5 万人

「物価高騰分を上回る大幅賃上げ」「大軍拡・増税反対」などをかけ1日、第94回メーデーが全国256カ所で開かれました。4年ぶりに、ほぼコロナ禍前に戻した形で開催された東京・代々木公園の中央メーデーには1万5000人(主催者発表)が参加。人気アニメのキャラクターを模して「インボイスは駆逐」とアピールするデコレーションカーなども復活し、集会後、都内3コースをデモ行進しました。

中央メーデー実行委員会の小畑雅子代表委員(全労連議長)が主催者あいさつしました。

壇上からの決意表明で「職場の理不尽な業務命令に対し、2月に組合を結成。非正規雇用や離れた職場で働く人にも声をかけ、職場の多数派となった」と語り拍手に包まれたのは、全印総連国際マイクロ写真工業社労働組合の加藤恵委員長です。

全国の国立病院でストライキを打った全日本国立医療

労働組合(全医労)の前園むつみ委員長は、「多くの組合員の参加で大きくアピールできた。機構の姿勢を変えるために、団結してたたかっていく」と表明しました。

(しんぶん赤旗5月2日より)

晴天の下、北九州統一メーデー

5月1日(月)、10:00~12:00 あさの汐風公園に600名の働く仲間が集まり、第94回北九州統一メーデーが開かれました。

オープニングは、「北九州のうたごえ」によるメーデー歌。永富実行委員長挨拶の後、田村貴昭衆議院議員を含む5名の来賓が挨拶。争議団組織が紹介された後、各団体からの訴えが続ききました。その後、メーデースローガンとメーデー宣言案が提案され万来の拍手で採択されました。最後は、団結がんばろう!で閉めました。

「市民の会」企画運営委員会 学校給食無償化求め運動強化

4月25日(火)、18:30~20:00 戸畑生涯学習センターで、企画運営委員会が開かれました。主に検討し、決定されたことを紹介します。

<第1議題> 市長選挙政策と今後の市民運動について政策の柱である<子育て3つのゼロと高齢者2つの支援>の運動をすすめることを確認しました。

とりわけ、①高齢者福祉乗車券の実現を求める署名運動を継続すること、②学校給食の無償化を求める運動を、子育て世代が核になるように展望して進めること

が提案されました。4月20日「学校給食を考える」知恵だし会議で提案された学習会が承認されました。

<学校給食を考える学習会>

7月8日(土) 10:30~12:30 コムシティこども館 講師:永井佑市議員

<第2議題> 市長選挙と「市民の会」財政問題について口頭で説明、了承されました。

<その他> 幹事会の日程を決めました。

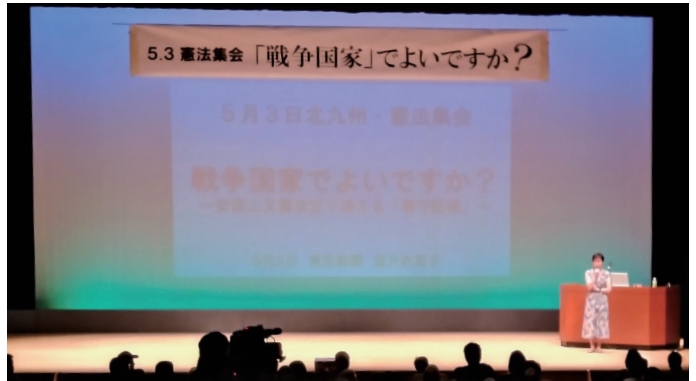
5月25日(木) 18:30 戸畑生涯学習センター

憲法
集会

憲法守りあらたな戦前にさせない



プラカードを掲げて、アピールする2023憲法大集会の参加者
＝3日、東京都江東区



基調講演で熱弁をふるう、東京新聞の望月衣塑子記者（壇上右）

全国で憲法集会岸田大軍拡ストップ —この一点で国民的大運動を起こそう

憲法施行から76年を迎えた3日、憲法を守り生かそうと全国で集会やデモが行われました。東京・有明防災公園で開かれた集会には、新型コロナウイルス流行以降で最大規模となる2万5000人（主催者発表）が参加。日本共産党の志位和夫委員長をはじめ4野党の代表と一緒に、日本を「あらたな戦前にさせない」とアピールしました。集会後、パレードしました。

同集会実行委員会の高田健さん（総がかり行動実行委員会共同代表）があいさつし、岸田政権は敵基地攻撃能力の保有を明記した安保3文書を閣議決定するなど戦争の準備をしているが、「やるべきは平和の準備です」と強調。岸田首相が来年9月までの任期中に改憲を目指すと公言したことに触れ、「全国でたたかい、阻止しよう」と呼びかけました。

共産党の志位氏、立憲民主党の西村智奈美代表代行、れいわ新選組の櫛渕万里共同代表、社民党の福島瑞穂党

首があいさつ。参加者と一緒に壇上から「敵基地攻撃能力いらない」など書かれたプラカードを掲げました。
(しんぶん赤旗5月4日)

「5.3 憲法集会」に500人超が参加

5月3日（水）午後、ムーブで「5.3 憲法集会」が開催されました。500人超の市民らが集まり、会場は満席となりました。

冒頭、前田憲徳実行委員長は、改憲を止めるため「真実を知り、周りに広げていこう」と呼びかけました。次いで、Fridays For Future Fukuokaの高田洋平さんが、環境問題は憲法の生存権に関わる問題とのべ、ともに声を上げていくことを訴えました。

基調講演は、東京新聞の望月衣塑子記者。『『戦争国家でよいですか?』～安保三文書で消える『専守防衛』と題し熱弁。望月氏は「安保三文書」に基づき、膨れ上がる防衛費や、岸田内閣に加担するメディアの状況などを力説。記者としてのテーマに「戦争したい人たちに戦争をさせないこと」とのべ、連帯し声をあげることの重要性を訴えました。

第7回「北九州9条まつり」が盛会

5月3日（水）午前、勝山公園で「北九州9条まつり」が開催されました。

好天に恵まれて、延べ250名が参加、楽しく元気の出る集会となりました。売店も出て、風船遊びもあり、子どもたちがおおよろこび。

中央舞台では、次々の演目が披露されました。コーラス、ピースリーディング、市内9条の会意見交流、平和コント、サムルノリ(四物遊戯)など。特に、サムルノリ(四物遊戯)は、圧巻でした。韓国の民族打楽器を賑やかに



激しく打ち鳴らし、国際平和と連帯を響かせ大盛況でした。